



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-7

1月号

発行 2022年1月10日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、
部・区・国際などの活動にも積極的に
参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World ”
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:
“Make a difference beyond the 100th”
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “ Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を
支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

対応するのか、プロゴルフ・トーナメントやオリンピック・ゴルフ競技の裏話等々、滅多に聞けないプロゴルフ界のお話を伺います。ゴルフ好きのワイズ、知人、友人をお誘いください。

浅井さんは、当日、川越センターで卓話をしてくださる予定です。

卓話: 「プロゴルフよもやま話～あなたの疑問に答えます。～」

卓話者: ダンロップスポーツエンタープライズ・トーナメント事業部副事業部長 ゼネラルマネージャー

浅井政彦氏

卓話者略歴:

1981年3月 日本大学第二高等学校卒業
1985年3月 青山学院大学経営学部卒業
1985年4月 株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ入社

現在、トーナメント事業部 副事業部長 ゼネラルマネージャー

*プロゴルフ・トーナメントやゴルフイベントの企画運営を中心とし、プロゴルファーのマネジメント業務などを行い、現在に至る
*ゴルフを始めるきっかけとなったのは、1980年、高校3年の時に、部活(サッカー)も引退して受験準備の時に、NHK で見た全米オープン(バルタスロール)での、J.ニ

1月の聖句

霊の結ぶ実 は 愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。(ガラテヤの信徒への手紙 5章 22-23)

The fruit of Spirit is love, joy, peace, longsuffering, kindness, goodness, faithfulness, gentleness, self-control. (Galatians 5:22/23)

2021年12月の統計 (12月18日)

在籍10名 出席者8名

ビジター 17名

出席率 80%

1月例会予告

日時: 2022年1月22日(土) 16:00~18:00

会場: 埼玉YMCA川越センター+リモート

参加

内容: 卓話者にプロゴルフ界の内情に精通している浅井政彦さんをお迎えし、霞ヶ関カンツリー倶楽部がなぜオリンピック・ゴルフ競技の会場に選ばれたのか、ゴルフ人口の減少にどう

クラスと、青木功さんの4日間にわたる激闘を見て、大学に行ったらゴルフをやる、と志しました。

巻頭言

会長 吉野勝三郎

新年明けましておめでとうございます。Y'sの年度では、後半に入りました。利根川恵子さんが立候補されている国際議員(次々期アジア太平洋地域会長)投票結果も発表になります。期待して待ちましょう。コロナに負けず、川越ワイズの後半の活動に励みましょう。

さて、今年の新しい学びの課題として、昨年11月にはDXを学び、2月にはカーボン・ニュートラルを学ぶ予定です。そこで、DXについて、大久保理事の卓話のフォローとして、下記二つのことを覚えたいと思います。

1. デジタル庁

2021年9月1日に発足したばかりの国の組織です。同庁のホームページには次のような記述があります。

誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を

日本のデジタル社会実現の司令塔としてデジタル庁が発足しました。デジタル庁は、この国の人々の幸福を何よりも優先し、国や地方公共団体、民間事業者などの関係者と連携して社会全体のデジタル化を推進する取組を牽引していきます。

利根川恵子さんの情報で、フィンランドでは紙による郵便を減らす運動があることを知りました。郵便局にこの活動の参加を申請して、自分宛のすべての郵便は、郵便局で開封して電子情報にしてもらって登録したメールアドレスに送ってもらうという方法です。これで、郵便配達が必要になるというのです。

確かに、ペーパーレスはカーボン・ニュートラルにも繋がります。でも、今年「年賀状は今回で終わりにします」、という賀状が何枚かありました。これだけでも淋しさを感じる私です。今朝の日経新聞には、「三井物産 医療DXの新会社 看護師業務を支援」という記事もありました。引き続きDXに注目下さい。

2. 2025年1月からの大学入学共通テストに「情報」が課される

私には、現在高1と中3の孫がいます。1月2日の我が家での新年会で高1の孫と話していて、じいじの時代は浪人して大学に入る人が多くて、一年浪人は「1浪＝ひとなみ」という言葉があったくらいだから、希望する進学先があつたら、浪人も覚悟で頑張れと言ったところ、そんなことをすると、新しい受験科目の「情報」が課されるからやだよ、と言われてしまいました。この二人の孫の受験時に試験科目に変化があることになります。既に、今年4月から、高校では「情報I」が必修科目になり、2025年の大学入学共通テスト用の「情報」用試験の例が発表されています。次のURLをクリックして見て下さい。

<https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00040342>

[pdf&n=12](#)

さあ、次の課題、カーボン・ニュートラルの予習も始めましょう。

12月例会報告

書記 利根川恵子

日時：12月18日(土) 11:00～13:00

場所：川越YMCAおよびZoom

1. IBCクリスマス例会



上記のスクリーンショットは、当日ビジターで参加したイギリス・キングスウッド・ブリストル・クラブ、アラン・ウォリントン(ウォーリー)さんが、参加者全員を入れて送ってくださったものです。

当日は、Zoomの利点が活かされ、Salemからは10名、川越は8名、ビジターが前述のアラン・ウォリントンさんのほかに、アジア太平洋地域直前会長・デイビッド・ルアさん(シンガポール)、東日本区直前理事・板村哲也さん(東京武蔵野多摩)、アジア太平洋地域書記・前田香代子さん(熊本ジェーンズ)、甲府21クラブ会長・米長晴信さん、さらに川越センターで岡部八千代さん、大嶋みゆきさんも参加し、総勢25名となりました。

内容も、Salemと川越両クラブがそれぞれにパワーポイントを用意し、異文化理解の楽しい時間となりました。吉野会長は着物で登場し、交流への意気込みが感じられました。

具体的な内容は、Salemから、クラブ恒例の、メンバー宅持ち回りのクリスマス・ディナー、メンバーの各家庭のクリスマスの過ごし方が紹介されました。



メンバー宅持ち回りのクリスマス・ディナーの様子。右は今回の説明役のFredさん。

川越クラブはお正月の伝統であるお節料理の紹介をしました。パワーポイントでお節料理の品々の意味を紹介したあと、吉野会長メネット・吉野ふじ子さん、山崎さん、利根川恵子が実物を用意し、その場でお重箱に詰める様子まで紹介するという凝った演出となりました。



一品ずつ意味を説明しながら、実際にお重箱に詰める様子を披露。

Salem からバレンタインデーの話が出ましたが、次回の交流が楽しみです。

また、他クラブから参加したワイズからは、川越クラブの英語力の高さを絶賛するコメントが届きました。ワイズメンズクラブ運動の特徴の一つは国際性です。これからも、川越クラブの強みを活かして、積極的に世界と繋がる活動をしたいものです。

2. チャリティ活動確認

1) 「紅あか」販売

- ・注文数は5kg換算で69箱。
- ・12月13日、20日に発送予定。その後請求書の送付を行う。

2) Y森のコーヒー販売

- ・3箱目の到着待ち。(12月21日に到着。)

3) 「古本再読」FB掲載後の状況

- ・古本数は320冊となる。
(なお、その後、追加の献本があり、今日現在、454冊が登録されました。ぜひ、下記のサイトを開いて見て下さい。)

<https://www.facebook.com/ys.kawagoe/>

3. その他の協議事項

1) 今後の例会内容

- ・2022年1月例会 22日、卓話「プロゴルフよもやま話～あなたの疑問に答えます。」

卓話者:ダンロップスポーツエンタープライズ・浅井政彦さん。

- ・卓話の内容について、なぜ霞ヶ関カンツリー倶楽部がオリンピック会場に選ばれたのか、ゴルフ人口が減っていることへの対応はどうか、プロトーナメントの裏方の苦労話を、等々希望が出ましたので、利根川から浅井さんに伝える。
- ・卓話後に、17時からボランティア・リーダー(2名)の成人式のお祝いをする予定であったが、キャンプの準備と重なるので延期。

- ・2月例会 26日、卓話「カーボン・ニュートラルの世界を目指して」卓話者:UPDATER(旧みんな電力株式会社)間内 賢さん

2) 来年度のクラブ運営について

- ・継続して検討する。

3) 「2022-2023年度次々期理事および財政監事候補者推薦」の件

- ・候補者がいたら会長に連絡。

4. 報告事項

1) チャリティー・ラン/ウォーク閉会式

- ・11月28日(日)、リモートで実施
- ・吉野会長、吉田さん、河合さん 計3名参加

2) わいわい食堂

- ・12月27日(月)9:30~13:00で実施予定。小学生10名参加者募集中。川越センター閉館中のため、山崎さんが鍵を担当予定。(当日は、河合さんが娘さんと参加。)

3) 会員近況報告:時間切れで省略

セーラムクラブとの Zoom Meeting に参加して

吉野ふじ子

私は今回初めて川越ワイズとセーラムワイズとの Zoom Meeting に参加しました。アメリカをはじめ世界何か国かのワイズの人達との話し合いは、日頃家にいるばかりの私にとっては刺激的なものでした。そして、たとえズームであっても人と人との繋がりは大切なものであることを実感しました。去年からいろいろな活動が制限されましたが、ズームという手段で活動が継続されるようになりました。初めは、こんな手段でうまくいくのかと、少々後ろに引いていましたが、お互いが慣れるに従い、だんだん意思の疎通がうまくいくようになってきたのは、コロナのもたらした副産物かもしれません。でもやはり顔と顔を合わせ、喜びや悲しみを分かち合うことに勝るものはない、と実感させられたことも事実です。

今回のミーティングのテーマは「クリスマスやお正月の過ごし方」ということでしたので、山崎さんが「田造り」利根川さんが「きんとん」私が「昆布巻きとなます」を手作りして持参しました。そして蒲鉾と伊達巻は利根川さんが買ってきてくれました。昨今、2,3万円も出せば豪華なおせち料理が買えますが、主婦の作ったおせち料理は、その家々の味が出て既製品とは違ったおいしさがあるのではないかと思います。アメリカのチキンの丸焼きをメインとしたクリスマス料理に比べると、地味なものが多い日本のおせち料理ですが、ヘルシーさは伝わったのではないかと思います。

ミーティング最後にイギリスのウォーリーさんが見せてくれた動画に皆さん大爆笑。コロナの憂さを吹き飛ばしてくれました。拍手。



**お節料理の紹介に大活躍の吉野ふじ子メネット。
Zoom 参加者に自己紹介。**

「わいわい食堂」報告

12月27日(月)
9時30分スタッフ集合、
10時15分～10時30分 参加者受付
10時45分から11時45分 アート活動
参加児童 12名
指導者 アート講師 新井壽代さん
クラブからの参加者 山崎純子、河合今日子



昼食はオムライス。卵焼きの上にケチャップで名前を書いて、味わう。

(活動の様子)



干支の由来を絵本の読み聞かせで知り、その後自分の名前にちなんだカルタ作り。



作ったカルタでカルタ取りを楽しむ。

YMCA報告

河合今日子

<12月トースター活動>

12月5日(日)、川越市内 JUN ホールにおいて、クリスマス会を開催しました。

例年は、クリスマス会でプレゼント交換をしたり、ちょっとしたおやつを作って食べたりしていましたが、昨年に引き続き、今年もコロナ感染予防の点からそれができませんでした。

しかしながら、リーダーや仲間たちと一緒にクリスマス工作をしたり、タレントショー(グループごとに特技や出し物を披露)をしたり、楽しい時間を過ごしました。



